

感染症週報 [市内週報 平成25年第17週]

感染症発生動向調査

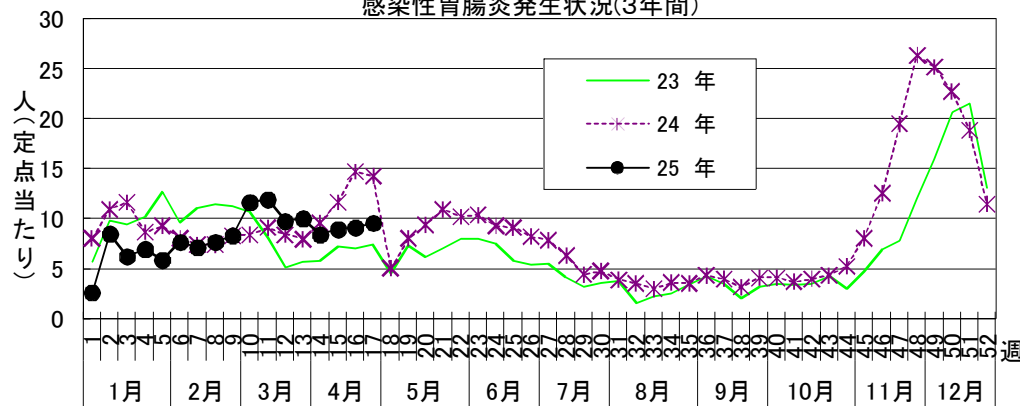
平成25年5月1日

平成25年第17週感染症発生状況【川崎市内】

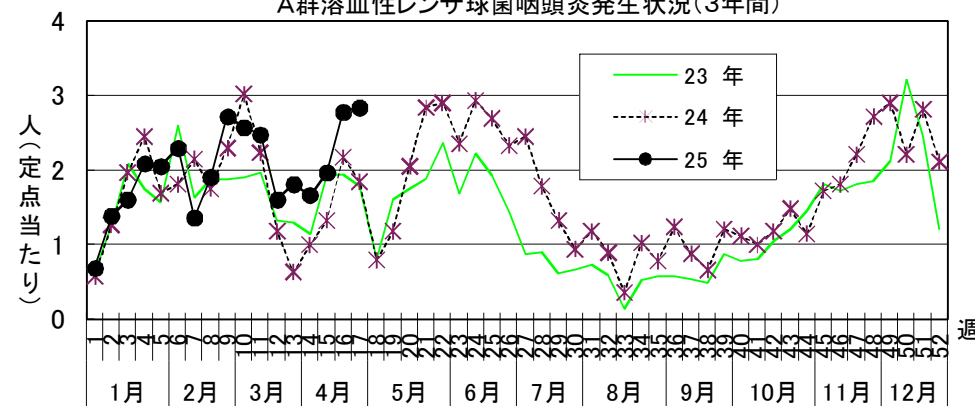
平成25年4月22日～4月28日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成25年第1週以降)
<p>第17週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。感染性胃腸炎は定点当たり9.61人と前週(9.18)より患者報告数はやや増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。</p> <p>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.85人と前週(2.79)より患者報告数はやや増加し、例年より高いレベルで推移しています。</p> <p>風しんの届出が20件あり、前週と比較すると届出数はやや減少しましたが、右下グラフのとおり、平成20年以降の月別で、過去最多の報告となっているため、引き続き、予防対策等(ワクチン接種の検討等)の徹底が重要です。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 3件	結核 89件
	3類感染症	パラチフス 1件	腸管出血性大腸菌感染症 3件(O157) パラチフス 1件
	4類感染症	なし	A型肝炎 1件、チクングニア熱 1件、デング熱 1件 マラリア 1件(三日熱)、レジオネラ症 2(肺炎型)
	5類感染症	風しん 20件(臨床診断例7件、検査診断例13件)	アメーバ赤痢 9件、ウイルス性肝炎 6件(B型5件、C型1件) 急性脳炎2件、クロイツフェルト・ヤコブ病 1件(孤発性) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5件 後天性免疫不全症候群 5件、梅毒 6件 髄膜炎菌性髄膜炎 1件 風しん 231件(臨床診断例57件、検査診断例174件) 麻疹 5件(臨床診断例3件、修飾麻疹1件、検査診断例1件) 侵袭性肺炎球菌感染症 3件

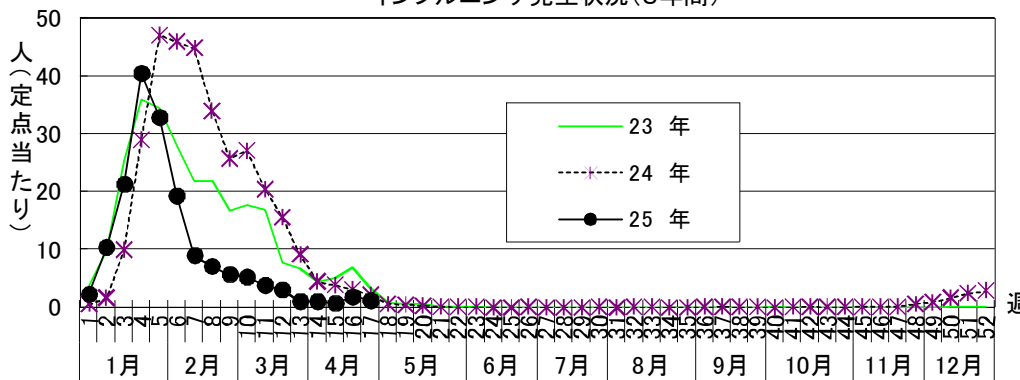
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



川崎市における月別風しん届出数(平成25年4月分は4月28日診断分まで集計)

